

令和6年7月26日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時

(1) 期日 令和6年7月26日(金)

(2) 開会 午前9時1分

(3) 散会 午前11時41分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原 慎一 委員長、白石 純一 副委員長、高崎 良二 委員、
大野 雅子 委員、川畑 二美 委員、竹原 信一 委員

5 事務局職員

議事係主任 松林 俊介

6 会議に付した事件

議会だより225号について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

○ 議会だより225号について

川原慎一委員長

本日は議会だより225号についてを議題といたします。

先日、委員会において修正することとした事項のうち、予算委員会及び総務文教委員会について再度作成いただくこととなりました。

今回は、その内容について確認するため、暫時休憩に入ります。

（休憩 午前9時2分～午前9時4分）

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

総務文教委員会の編集委員によって編集された部分についての御説明をお願いします。

3人どなたでもよろしいですけど。

白石純一委員

前回の委員から出てきたことを参考に、あと竹原委員の提案も入れて、例えば趣旨採択、1番冒頭の判子のところの下に、決議・意見書提出は見送りということで、このアイコン、ロゴですね、賛成多数で趣旨採択されたよ、ただし、決議・意見書提出は見送りでしたよというようなことで文章で書かずに、できるだけビジュアルで見て分かるようにというところを加えて、委員長に確認していただき、委員長がこれで出してくださいということでしたので、こういう形になりました。

ほかに付け加えることがあれば。

川原慎一委員長

写真がちょっとアップになってますよね。

白石純一委員

写真は、竹原委員の写真は、機械だけでしたけれども、委員長から俯瞰で撮らないと、機器というのが分かりにくいので、機器全体を撮ってくださいということと、左下に蛍光灯がまぶしくてそれは消したほうが良いということなので、ぎりぎりそこでカットしてトリミングしています。

川原慎一委員長

あと、下の小人数。

大野雅子委員

小人数のほうはですね、この間、小学校を載せてた分がまずいんじゃないかということで、じゃあどこを載せますかということで、長時間労働の是正はどのような工夫が行われているかという問い、これでいいですと委員長から確認受けてこの文章でしました。

そして、写真も中学校に差し替えてくださいということで依頼を受けました。

白石純一委員

本文中は赤いところが変わったところですよ。

川原慎一委員長

変わったところですね。

注目が、意見提出は見送りとなった。

これ、ここに注目もあるし、印鑑の下にも意見提出は見送りって2重にありますけど、これは、渡辺さんがこうしてくれということだったということですか。

大野雅子委員

これは私が提案、この下にあっただけでは分かりにくいので、文書であつたらより丁寧かなということで、これをつけ加えたらどうですかという提案をしたら、白石委員はもう必要ないんじゃないかということでしたが、委員長としては、そこへつけ加えてもいいですよということでしたので、これをつけ加えさせて、より読む人に分かりやすいようにつけ加えさせていただきます。

川原慎一委員長

はい。

写真は阿久根中に差し替えをするということですね。

[大野雅子委員「はい」と呼ぶ]

竹原委員からこれ提出されたんですけど、これは。

[竹原信一委員「ちょっと説明させてください」と呼ぶ]

ちょっとお待ちください。

編集の中で、3人でこれは見てらっしゃらない。

大野雅子委員

3人で話し合い、グループを作って話をずっとやってきました。

その中で、いえ、私は反対ですという意見をいただいたので、これを出す、内容は一応確認はしました。その中で、こっちがいいだろうという意見でまとまったところです。

一応、3人で見たよね。

[発言する者あり]

竹原信一委員

まずですね、議会の根本の目的というのは、議会の市民参加を推進するということ。

そして、陳情というのは、請願及び陳情を政策提案と位置づける、議会基本条例にあります。

私たちは、多くの市民が議会に、市政に関心を持つように、広報活動に努めなければならないということがあります。

ですから、この陳情というのは、陳情者に対して最大限の感謝と尊重の立場から取り組まなきゃいけないはずですよ。

まず、私が載せた、誰からどのようなのが出たのか。

本人が断らなければ匿名じゃなくて、誰から陳情がありましたというのは載せるべきだと思います。

そして、陳情を説明して、審査の過程、陳情者には出席を求めず、担当課に質疑を行いました。その中の例をそこに上げる。そして討議、討論の後採決しましたと。

こんな流れで最後に、結果的に、趣旨採択、賛成多数で決議意見書の提出は見送りが委員会の結論でしたと。

これが市民にとって分かりやすい内容ではないかと、流れだと思えます。

次のほう、少人数学級に関しても同じような流れで、本人、誰から陳情がありました。内容の概略と審査の過程、そして採決、その部分に、載せる。何だったら陳情の皆さんありがとうございますと、私たち、推進して、議会参加に感謝しますぐらいのことを、議長の文書があってもいいぐらいのことだと私は思うんですけど。

そういった、私も陳情を出してみようかという思いを応援するような、議会広報活動でなければいかんと思えます。この議会だよりも。

ここに注目の文章、前のを見てみますと、陳情者に対する思いみたいなことは全くなくて、私たちがこう決めたんだ、あるいは、この、何だっけ、まだ内部的にも議論のある、余地のある状態なのに、DXの推進を期待とかね。とか、あるいは下のほうもですよ。陳情者に対する姿勢が非常に冷たい表現だと思う。

もし出すとするなら、先ほど、何か論点がありましたのところについては深く研究していく必要があると思ってますとかね、そんなふうにならともかく、これはちょっとまずいだろうと思えます。

川原慎一委員長

よろしいですか。

[竹原信一委員「はい」と呼ぶ]

今、竹原委員からございましたけども、これが3人の中で出されてるものが上がったということですけど、もちろん、一応なりとも話し合はしてらっしゃいますよね。

なぜこれが却下されたかっていう理由があれば、ここでお話してください。

白石純一委員

事細かく流れを追ってという竹原委員の考え方も一理あります。

今までそういう流れで作ってきましたが、読者・市民はゼロから10まで、最後まで読むことは期待しないほうが、私はいいと思えます。

つまり、ハイライトとしていかに興味を持ってもらうかということ。例えば、竹原委員がおっしゃった、陳情者に敬意を払い、それはそうですけれども、陳情者は竹原委員がおっしゃったとおり1から10まで、ゼロから10まで追って、流れを追って書いたほうがいいのかもしれませんが、市民にとっては、全てを読まれるということは期待しないで、アイコンだとか写真とかで、まず、記事に興味を持ってもらう。

そして、そのハイライトを報道するというのが、より多くの市民に注目、見てもらうということで、より分かりやすくということでした。

そして、あと、渡辺委員長には両方見てもらってるわけですけども、渡辺委員長。

川原慎一委員長

二つとも見ていらっしゃるわけですか。

白石純一委員

もちろんです。その中で、渡辺委員長が私と大野委員の案でお願いしますということでしたので、こちらにしております。

竹原委員のコメントで、例えば誰々からの陳情ですというのは、私は入れてもいいかとは思いますが、それは渡辺委員長に確認して、良ければ入れてもいいとは思っています。

川原慎一委員長

はい、分かりました。

〔白石純一委員「大野委員、何かありますか」と呼ぶ〕

大野雅子委員

私も同じような意見で、まず読者には興味を持って見てもらわないといけないんじゃないかというのもありました。

そこで、今、議会だよりを変えていこうという、やってるんじゃないだろうかと。

ここに注目っていうことを今回載せたことで、よくなるだろうと思ったんですけども、委員長に、どのようにここを作ってもらおうかという議論を、まずここでしっかりしていなかったというのがまずかったのかなと思って、ここには、こういう意図で載せましょうねという共通意思を持った上で頼まないと、それぞれの委員長は自分で誇りを持って報告をされているわけですよ。

その中で、自分が一応、ここに注目という欄を作りますから入れてくださいねって言われたところで、本人はこれを載せたいと思って書かれたんですね。

それを、どの委員長にも、いやこれはまずかった。これはおかしい、私たちの考えとは違う、ということはずごく失礼だったなと今回思っています。

何度もやりとり、渡辺委員長ともしたんですけども、なぜ僕が書いたことがまずいのよと、すごく機嫌を損ねる。

最初でやっぱりその意思の統一が必要だった、こういう欄を作るというのはとてもよかつたと思うんです。ぱっと見て、注目って何だろうと思って、読者が目を引く。

まず、それが1番最初は大事だと思うんですけども、その意思の統一がちょっと足らなかったかな、これからこれはもちろん必要だと思います。

竹原議員ののが丁寧に書いてあるのは分かるんですけども、それを本当に細かく見てくれる人が何人いるだろうかというのがとても心配で、こういう目につくような方法を使うというのはとても大事なほうだったけれども、この意思統一がされずに委員長にお任せしたことで、委員長から返ってきたのが、私たちの思ってるのとは違つたっていうことで、ここで今もめてしまったというのではないだろうかというのを思っております。

白石純一委員

私はですね、すいません前回出れなくて申し訳なかつたんですけども、渡辺委員長のここに注目の特に上のほうですか、がどうなんだろうというような、今回出たんですかね。

竹原委員もけしからんというようなことをおっしゃってました。先ほどおっしゃってましたけれども、まずいんじゃないかとおっしゃってましたけど。どこがまずいか教えてください。

川原慎一委員長

ちょっと待ってください。

〔発言する者あり〕

暫時休憩入ります。

(休憩 午前9時18分～午前10時2分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

今、喧々諤々、いろんな御意見が出ました。

それを受けまして、まず、この委員会報告におけるここに注目の欄について、これは残すべきである。また、もう要らないのじゃないかというところを、まず皆さんにお諮りしたいと思います。

白石純一委員

内容についても賛否ありますけれども、内容とそこのここに注目の目的、書式は別に考えるべきであって、内容はともかく、ここに注目ということで、ぱっと見て市民がまず見てくれるとは思うんですよね。

ですから、その点をまず第一義に考えて私は残すべきだ、そのあとに、その内容については十分に審査・検討すべきだというのは思います。

したがって、残すべきという立場です。

〔発言する者あり〕

高崎良二委員

私もですね、やっぱり、ぱっと新聞の文面を見たときに、ここに注目っていう、ここがまず目について、そこからこう文章の中に入っていくと思うっていうか、そこで興味をまず示されると思うので、私は、これは残したほうがいいと思います。

ただ、その文面の内容については、いろいろ検討しないといけないと思うんですが、取り掛かりの最初の入る部分としては非常に目につくのでいいと思いますけど。

川原慎一委員長

新聞でなく、議会だよりですね。

〔高崎良二委員「はい」と呼ぶ〕

竹原信一委員

文章を作っていて、どうしても何か注目してほしいというのがあった時にだけ載せる。基本はなくてもいい。なくてもいいのに無理やりこれを入れるから変な文章を作ってしまうことになってしまったんじゃないかと思うんですよ。基本はなくてもいい、どうしても載せるべきだと考えたときに付け足すという、そういう発想でいくべきだと。必ず載せるとする必要はない。すべきではない。

川原慎一委員長

今3つの御意見が出ました。

お二人は、ここに注目に残していくべき、かつ内容をしっかり精査すべきであるということの御意見でよろしかったでしょうか。それぞれお二人。

竹原委員からは、いわゆる自由度といいますか、注目してほしいという部分があるのであれば、そのときには載せていただいて、基本的には要らないということでもよろしいですか。

〔発言する者あり〕

そのときそのときの臨機応変にということでもよろしいでしょうか。

竹原信一委員

なくてもいいのはないほうがいい。どうしても必要なときに入れる。それが文書づくりの基本だと思いますけど。

川原慎一委員長

それでは、竹原委員としてはいらないのではないかということ。

〔竹原信一委員「いらない、ちょっと違うな。必要なときだけに入れる。特に入れると

いう言い方で」と呼ぶ]

川原慎一委員長

竹原委員からは、必要なときに入れるってということで御意見がございました。

それでは、もうたくさん御意見も休憩中に出ておりますので、もうここでお諮りしたいと思います。

まず、ここに注目に関して、これは毎号毎号残していくべきであるというお考えの方は、挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

ありがとうございます。

挙手3人ですので、これは残していくという形でいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、今御意見ございました内容についてでございます。

この内容をどういうふうに統一見解としていくのがよろしいかの御意見をいただきたいと思います。

竹原信一委員

ずっとの統一見解。

川原慎一委員長

だから、ここに注目っていう部分をどういうふうに、内容がいろんなことが今出ました。例えば、委員長の意見として入ってくるのはちょっとよろしくないということで、今回、いろんな話合いがなされております。

なので、そこを受けてどういうふうにすべきかということだと、私は、高崎委員からの内容という部分をそういうふうにとったんですが、高崎委員、それでよろしかったでしょうか。

高崎良二委員

ここに注目の部分に関して、ここ今、基本、委員長さんが書かれてると。

これを例えば、ここにいる編集委員の方が全体を見て、ここが注目だよねっていうのを作るっていうのも一つの手じゃないかなと思うんですけど。

[発言する者あり]

川原慎一委員長

今、高崎委員から、ここに注目は委員会報告を提出していただいた、今現状としては委員長にお願いしておりますが、ここに注目に関しては、編集委員、広報広聴委員会の委員で作るのはどうだろうかという御意見でございました。

いかがですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでよろしいですか。

白石純一委員

それも一つの考え方でいいと思うんですけど、その際に、ここは委員長が書いたんじゃないんだよ、括弧、編集委員が書いたんだよというのが分かるように、区別は必要かなと思いますけどね。

大野雅子委員

結局は、最終的に私たちが全部を確認するので、ここが誰が書いた、ここは誰が書いた

の必要はないと思います。

川畑二美委員

私も同じ意見ですね。

川原慎一委員長

大野委員と同じ意見ということですか。

白石純一委員

議会だよりの常任委員会の内容は、委員長に一任しますというのが委員会で必ず大体決まりますので、そのことを考えると、委員会のページなんだけれどもこの部分については、編集委員会からというようなことがないと、このページも編集委員長が書いたということになりますので、その誤解はないようにすべきかなと思うんですよね。

竹原信一委員

問題はですよ、市民がどのような理解をするかということであって、誰が誰がの問題じゃ既にないわけですよ。

例えば、先ほどの保険証の5年間のどうのこうのの話もですよ、言ったとおりに書いちゃいけないところもあったりするわけで、名前を聞いて誰が書いたなんて全く意味がない話。必要がないです。市民が知ったって何の価値もありません。

川原慎一委員長

暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時10分～午前10時14分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

まず、ここに注目の欄についてですが、ここは、私たち広報広聴委員会で作成するというのでよろしいのかどうか挙手をお願いします。

いいと思われる方は挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

ありがとうございます。

それでは、挙手多数でございますので、ここに注目、この名前に関してはまたこれからあると思いますが、注目して欲しい欄に関しては、編集委員で作成するというにいたしたいと思います。

これで。

[発言する者あり]

ちょっと待ってください。

では、ここに注目に関しては残していく、かつ内容については、編集委員で、広報広聴委員会の編集委員の中で、作っていくということに異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

ありがとうございます。

異議なしということで、そのように決まりました。

暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時15分～午前10時21分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

この総務文教委員会の2段目の件、マイナンバーカードを作らない場合のQに対しての今、自動的に送付されて、ここに関しては、議事録をしっかりと精査して、分かりやすいような形でこちらのほうでまとめて、皆さん方に次の委員会前にちょっとロゴチャットなりに送るようにしましょうかね。

[竹原信一委員「これ今、委員会中」と呼ぶ]

今、委員会中です。

なるべくそこは早くします。

竹原信一委員

先ほど申し上げたとおり、議事録ではこのとおり言ってるんですよ。

言ってるけど、事実とは違うということでもありますので、その何だっけ、担当部署に行って、文章をしっかりとしたものにしなきゃいけないという、会議録からは間違っただけになってしまいます。

川原慎一委員長

ちょっと載せられないですよ。

暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時22分～午前10時23分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

竹原信一委員

檜柑幸雄様から保険証の存続に関する陳情がありましたということは、ぜひね、載せていただいて、陳情者を誘導するといいますか、感謝の意を表すというような意味も、そして陳情、意見などを皆さんが出せよっていうのを誘導していくというのは私たちの大事な仕事だと思いますので、ぜひそこは載せていただきたい。

川原慎一委員長

それに関しては、下も含めてですけど、檜柑さんと川畑さんに私から確認をとります。載せていいのかどうかは、します。

ただ、陳情書に関しては、これ表に出てるものですから、QRコードで前回同様に載せることは、私はいいと思うんですけどね。もし駄目だという場合は、もうQRコードのみに留めるしかないかな。

[竹原信一委員「匿名、匿名」と呼ぶ]

匿名よりは、陳情書を御覧ください、QRコードのほうがよくないですか。

匿名だと何かちょっと怪しい感じになっちゃうから。

[竹原信一委員「とりあえず、本人がいいと言えれば載せていただくと」呼ぶ]

白石純一委員

本人がいいというのであれば、保険証、保険証の存続に関する陳情、括弧、陳情者誰々

でいいんじゃないですか。

誰々様から陳情がありましたって別に丁寧に書く必要ない。

〔竹原信一委員「もう一回言って」と呼ぶ〕

例えば保険証の存続に関する陳情というタイトルがありますが、その後ろに括弧陳情者誰々、括弧でいいんじゃないですか。

〔竹原信一委員「ちょっとねえ」と呼ぶ〕

川畑二美委員

本人に確認していただいて、本人が出てもいいというんだったら、名前を出して、やっぱりバーコードでするパターンが私はいいかなと思います。

竹原信一委員

表現としてですよ、括弧、何とかしてするよりも、もっともっと優しいといいますか、陳情いただきましてありがとうございますという気持ちが表われるような表現がいいんじゃないかなあと考えております。

あと、そこはおいおい考えてもいいと思います。

ここを載せるということで、まあよろしく。

白石純一委員

前回の陳情はQRコードで誘導したんでしたっけ。

川原慎一委員長

そうでした。

白石純一委員

そのときは、陳情は採択されたやつでしたっけ。

川原慎一委員長

いや。

〔「採択されたのは海の家陳情ですよ」と呼ぶ者あり〕

そうそう、あと請願もでした。

白石純一委員

採択されたものは当然出さなきゃいけないけど、採択されなかったもの、趣旨採択をどうするか。

まあ私は出してもいいと思います。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前10時27分～午前10時32分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

総務文教委員会の陳情の部分に関して、まず保険証存続に関する陳情に関しての、これ趣旨採択でございますが、まず、陳情書に関して、総括のところQRコードを載せるということに賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

挙手多数にて、QRコードを載せることにいたします。

あと、これに関する委員長の報告の部分の動画に関してですが、これも総括のところにQRコードを貼るということに関して賛成の方は挙手をお願いします。

〔挙手者なし〕

いらっしゃいませんね。

〔白石純一委員「ちょっとごめんなさい、今のもう一度お願いします」と呼ぶ〕

総括のところにQRコードを載せることであればスペースがございましたので、陳情書を今、皆さん方に採決したところを載せるということになりました。

〔発言する者あり〕

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前10時34分～午前10時53分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

QRコードについてですが、総括のところに陳情書を2つ載せて、かつ総括には小人数の部分の陳情に関することも載せるということで、よろしいでしょうか。

白石純一委員

そこに予算委員会のこと、予算委員会じゃなかった、補正予算のことも、総括として出してもらいたいですね。

それと、もうちょっとその総括の部分を膨らまして、1ページ使って、残りの1ページで子供たちと山田さんの写真でもいいんじゃないかなと思うんですけど。

川原慎一委員長

今、御意見が出ましたけども、前回決まった形は、子供の写真が1ページで、総括半ページの山田議員の40年の表彰のところを半ページということで、皆さん方に御承認をいただいておりますが、いかがでしょうか。

竹原信一委員

今、白石委員が言ったのはこの下に予算、補正予算。

白石純一委員

その総括自体を1ページに広げて、補正予算分のこと、それ以外になんか抜けてるのか、あるかどうか分からないですけど、まあ補正、今回そのQRも2つずつ出すのであれば、1ページ使ってもいいのかなと。

山田議員と子供たちの写真をまとめて1ページでも。

〔竹原信一委員「ちょっと休憩がほしい」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

はい、暫時休憩に入ります。

(休憩 午前10時55分～午前11時9分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

総括の部分に関しては、補正予算の件を入れて、かつ、陳情に関しては2つQRコード

を入れる。動画は1つで済みますので、当陳情書2つのQRコードを入れて、動画を1つ入れる。

あとはスペース的な問題があるので、そこがどうなるかはありますが、なるべくやって皆さん方に御提示したいと思いますのでよろしくをお願いします。

〔発言する者あり〕

よろしいでしょうか。

〔「分かりました」と呼ぶ者あり〕

それでは、予算委員会に移ってまいります、よろしいですか。

〔発言する者あり〕

ごめんなさい、陳情者のことに関しては、こちらから、権柑さんと川畑さんに関しては、確認をとってから入れるか入れないかというのはしたいと思います。

高崎良二委員

権柑様という、様の表記が、どうなのかなと。

川原慎一委員長

そこをちょっと調べて、ふさわしいものに変えます。

様がふさわしいのであればそのままということではよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、時間ありませんので予算委員会に入ります。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

まず、昨日の編集で。

白石純一委員

昨日の編集ってなに。

川原慎一委員長

白石委員が出されたものに対して、前回の委員会のときに出されたものを、当初は高崎委員と川畑委員で、予算委員会の編集を担当していただいておりましたが、それではなく、4人でやりましょうということで、前回の広報広聴委員会で決定いたしておりましたので、それをやっていただいたということになります。

白石純一委員

全然知らなかったもので、はい。

川原慎一委員長

それでは、昨日の編集委員会で、至ったことに対して、これ何番になつとけ。

〔白石純一委員「委員長」と呼ぶ〕

ちょっとお待ちください。

〔松林議事係主任「P04-03が昨日やっていただいたところですよ」と呼ぶ〕

P04-03が、昨日4人で編集していただいたところですね。P04-02は、委員長が出していただいた分。P04-02、そうだね。

暫時休憩入ります。

(休憩 午前11時13分～午前11時14分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

まず、P04-02が、予算委員長が再作成として御提出いただいたもので、それを受けて、昨日P04-03で、4人の委員の方々に編集、修正をしていただいたものでございます。

4人の編集委員の方でしていただいたんですが、その説明がしていただけたらと思いますが。

竹原信一委員

この前の白石委員出していただいたものの中ではですね、もう半ページを栽培漁業センターだけで食ってしまっている。

そして、委員長報告にもあった内容が何項目も外れてしまって、市民に委員会、議会を分かりやすく説明するという意味では、大分これは手を入れなきゃいけないということで、提案をさせていただきました。

まず、必要なこと、1番市民にとって関心があるような内容というのは、給付金、アクネファン創出事業、コミュニティ助成事業などが抜けております。

そして、その議案内容についても説明が入っていませんので、市民がこのタイトルだけ見てもどのようなものか分からない。

一つ一つについて概略を説明し、そして、Q&Aの例をつけました。

そして、ここに注目の内容についてもダブっていたり、量が多過ぎたりするところもありましたので、1番紛糾した部分、資料提出の件についてを出しました。

写真はほぼ元のとおり、それで写真の契約書の下の記事が多過ぎてまた見にくくなっておりますので、短縮する形で表現させていただきました。

それから、栽培漁業センターについては、特にタイトルの項目的な中身としては年間186万円、たったこれだけの内容っていうことをはっきりさせておかなきゃいけない、ということでございます。

そして昨日、4人で集まって、こんな風に変えたらいいでしょうという提案をさせていただきました。

川原慎一委員長

4人の総意ということでよろしいわけですね。

高崎良二委員

補足で説明していいですか。

まず最初ですね、私と川畑委員が担当になりまして、白石委員長といろいろ、こう内容についてやりとりをしました。

それで、委員会に持ってきて、これでは不十分だということで、また白石委員長に話をして、いろいろやりとりをした結果が、昨日、案として出てきた部分でありまして、それを私はもうこれでいいという話で、昨日の話のスタートはそれだったんですが、その、昨日4人集まった中で話をしていく中で、やはりこのアクネファンとか、ちょっと抜けてるところがあるなというのに、私も気付きました。

そういう中で竹原委員から提案がなされた文面がありました。

両方見比べていった中で、抜けているところ、必要のところ、必要じゃないところというのをいろいろ検討してきた中で最終的にはこう決まったんですが、基本はですね、やはり委員長の意向を損なわないようにっていうのを、昨日の話の中では、いろいろ検討し

ていったんですが、やはり、先ほど竹原委員が言われたように、ちょっと栽培医療センターが同じ文言の説明があちこちにあるなっていうのに気づきましたので、そこは訂正したほうがいいんじゃないかというので訂正をして、今日のこの最終版ということで出しています。

ただ、その中でやっぱり委員長の意向もあるというので、昨日、委員長も呼んだほうがいいんじゃないかなっていう話も出たんですが、今日取りあえずこの最終版で提案して、またこれに委員長の意向があれば、またそれも聞いてみてっていうので、今の現時点に達したと思うんですが。

川原慎一委員長

それでは、ほかのお2人からはないですか。

川畑二美委員

白石議員の出されたのと、竹原議員からも出てきて、それを見比べながら私たちもやってた状態で、まあ、白石議員を呼んだほうがいいんじゃないかっていう意見は出したんですけど、4人でいろいろ、見やすいこととかですね、価格高騰の給付金の件とか、その辺は市民にやっぱり受けるのは必要じゃないかというのと、あと、この表を見たらですね、やはり、こちらのほうが、結構、私たちにも分かりやすいんじゃないかということで、こういう形にしたんですけど。

今日は、また白石委員長の立場でまたその辺はこうしたほうがいいという意見があったらまたおっしゃっていただいたら。

昨日は一応4人で、話し合った結果がこういう状態になりました。

川原慎一委員長

大野委員ありますか。

〔大野雅子委員「もう、皆さんが言ってくださったとおりに」と呼ぶ〕

それでは、今御説明がありました。

白石委員のほうからあれば。

白石純一委員

編集ありがとうございました。

もちろん、こうすればよりいいなというところもあるし、私の言いたいところはこれなんですよというところもあるし、今日、今私、今朝、朝ちゅうか今見ただけなので、どこが一字一句変わっているのかが分からないので、持ち帰らせていただいてということで良ければ。

川原慎一委員長

今日は決められないってことですか。

白石純一委員

もちろん一字一句、全部今この時間、この、今見れません。

せめて昨日頂いていけば見れたらと思うんですけど。

川原慎一委員長

昨日送ってたよね。

〔松林議事係主任「moreNOTEに掲載しました」と呼ぶ〕

moreNOTEに掲載してるんですけどね。

白石純一委員

私はmoreNOTE見たつもりだったんだけど、あれをしてなかったのか。
だってあの、こういうの。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前11時23分～午前11時31分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

予算委員会に関しては、今、白石委員で確認をいただいて、今日中に送っていただくということに決まりました。

それによつてのやりとりに関しては、一応皆さん方にはお流しをしますね、白石委員から流れてきたものに関しては。それに対しての御意見もお聞きはします。

そこを含めて、私と白石予算委員長とのやりとりで決めたいと思いますが、もし、それでちょっと多いようであり、また委員会が必要というふうな判断であれば、委員会を開きたいと思います。

それで御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決まりました。

それでは、総括に関しては、委員長に御一任いただくということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

それでは、以上で本日の広報広聴委員会。

大野雅子委員

もう、今日のことじゃないんですけど、今回、早く議会が終わって、そのあとが随分あったと思うんですね。

それだけやっぱりこんなにタイトに後がなくなってしまったというのは、すごくもったいなかったなと思って。

いろんな議論ができるっていうことは、すごく自分たちの勉強にもなって今回よかったとは思っております。

なので、7月16日が最初のタイムスケジュールが出たと思うんですけど、とにかく議会が終わった時点で、もう今回はここまででこうなるんだよというのが私たちの中でしっかり受け止めていなかったなというのがあって、今回は、次はまたちょっと忙しくなるのかなと思うので、もう始まる前からタイムスケジュールを組んで、こことここで早めで仕上げてくださっていうのを、ここで委員会入れますよ、入れますよっていうのを大概もう頭の中に入れておけば、また作業もしやすいかなと思うので、その作業をちょっと早めにどうでしょうかと思った次第でした。

川原慎一委員長

前回の委員会でもお話をしましたけども、今回これが発刊されるのが来月の15日ですよ、で、もう結局、渡すのが8月2日だったけ。

もう8月2日で広報広聴委員会としては終わりですので、また、もう9月もまたすぐ1

回始まりますから、8月の間に次の226号になりますが、それに関しては、この8月の間に委員会開くなりして、共通認識をしっかりとくということでお話しております。

それは開きたいと思いますので、日程を聞いて、盆以降になりますが、よろしくお願ひしたいと思います。

白石純一委員

日程の件ですけど、委員長初め皆さんそれぞれスケジュールがおありになられると思いますので、提案ですけど、スケジュールアプリがありますよね、調整さんとか、御存じですかね。調整さんとかで、少なくともこの1週間でこれ、このような日にち皆さんどうですかというスケジュールを聞いていただいて、どうしても合わない場合はあれだけど、6人中5人とか、もちろん全員入れてもらうのが必要ですけど、それで調整していただくのも提案させていただきます。

川原慎一委員

取りあえず、すいません8月に、阿久根市外へ出る宿泊がえられる方は、もう今のうちに、出しといてください。

盆を含めて、盆はしないですけど、盆以降に、次は、いつだったっけ、27が議運だったよね。だから、19、20、21、22、23の中でやれたらと思いますので。

〔発言する者あり〕

一回目というか、226号に対しての共通認識というか、それを。

〔白石純一委員「19、20」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「私はもう19は駄目です。もう、はい、19は」と呼ぶ〕

19日から23日の間です。

〔白石純一委員「別に市外に出なくてもやっぱり、その日によっては、あれがあつて」と呼ぶ〕

この前議長からも来てましたけど、そこも見ながらしますので。

白石純一委員

私は先々週だったかな、4～5日留守したときのをうっかり届出してませんでした。

申し訳なかったんですけど。

まずそれは、全く別件で。

川原慎一委員長

はいどうぞ。

白石純一委員

この広報広聴委員会の進め方とか、いうことで他の議会の広報委員会を行政視察に行けないかなと思ってまして。

一つは、候補の一つは、私は都城市議会の議会報が大変充実しているのでその進め方ですね。内容もちろんですけど、を一度行政視察に行けないかなと思って。

実は1～2か月前に、先方の議会ホームページ見たんですけど、1～2か月前で、8月まではいっぱいですとか、そういうふうに書いてありましたので、早めにちょっとそういうのも検討できないかなと思って。

川原慎一委員長

はい、御意見としてお受けいたしますが、それに対して何かありますか。予算等もあるのでその辺もしっかり考えていけないところもありますよ。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前11時38分～午前11時41分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。
視察の件に関しても、次の委員会で話し合えたらと思います。
それでは、本日の広報広聴委員会を散会いたします。

(散会 午前11時41分)

広報広聴委員会委員長 川 原 慎 一